

1 国語に関する調査

【特長】

- ・インタビューする様子を確実に読み取り、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることがよくできている。
- ・手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由を問う問題において、図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することがよくできている。

【課題】

- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。調べ学習の際には、書籍や新聞、インターネット上のサイトなど、様々な資料を基に考えを深める活動を取り入れる。
- ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題がある。説明文の学習の際に、叙述に立ち返る指導を心掛ける。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・棒グラフから項目間の関係を読み取ったり、異分母の分数の加法の計算をしたりすることがよくできている。
- ・小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることがよくできている。

【課題】

- ・平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することに課題がある。作図の手順を確実に理解するとともに、実際にコンパスなどの道具を活用する場面を意識的に設定する必要がある。
- ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見いだし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述することに課題がある。意図的に情報を整理したり文章として記述したりする機会を多く設定する必要がある。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わるという知識が身に付いている。

【課題】

- ・レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見いだし、表現することに課題がある。実験の際は条件設定の方法を考え、結果について根拠をもって予想するなど、見通しをもった指導をすることを心掛ける。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・「人が困っているときは進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と答えていた児童が多い。
- ・タブレット端末などのICT機器を活用することについて、「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」「友達と協力しながら学習を進めることができる」と答えていた児童が多い。

【課題】

- ・「学校の授業時間以外に読書をする」「読書は好き」と答えた児童が少ない。本を手に取る活動を学習活動に意識的に取り入れる。
- ・「理科の勉強は好き」「理科の授業の内容はよく分かる」と答えた児童が多いが、「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う」「理科の授業で学習したことを普段の学習で活用できている」と答えた児童が少ない。日常生活から解決したい問題を見いだしたり、問題解決の活動を通して得た知識を日常生活と関連づけて考えたりする活動を計画的に取り入れる。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・各教科の基礎的な知識や技能の定着を図るとともに、必要な情報を見いだして考えたり、言葉や文章で表現したりする学習を多く取り入れていく。
- ・担任だけではなく学校の教職員がチームとなって児童を支援し、児童が困った際にすぐに誰かに相談できる環境を設定することで、引き続き安心して学校生活を送れるようにする。
- ・日常的に読書に親しむことができるよう、朝読書やボランティアによる本の読み聞かせを行い、本にふれる機会を多く設定する。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいという児童が多い。引き続きコミュニティ・スクールでの活動などを通じて地域との活動を多く取り入れていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・お子さんが学びの楽しさや意義を感じ、生涯を通じて学び続けられる人になれるよう、ご家庭でも学びを深めることを価値付けるような声掛けをお願いします。
- ・これからの中でも本を手に取って自ら学んでいくことは大切だと考えます。ご家庭でも、子どもが進んで読書ができるよう、読書の声掛けや環境づくりをお願いします。
- ・子どもたちの意欲を地域で生かすため、地域行事の場で活躍ができるよう、ご協力をお願いします。